

どのように取り組む健康グレードアップ

予防・生活習慣に積極的に力をいれる

柳澤 嘉勝 議員



問 第4次御代田町長期振興計画が12月議会で可決され、自立のまちづくりがスタートした。

基本構想を実現するなかで町の最大の課題は、総予算の3割を超える保健医療費を抑制する政策を強力に推進することにある。

「健康グレードアップみよた」の実践が必要不可欠であるが、町の取り組み方について問う。

町民課長 18年度を初年度とし、22年度を目標に定めている。1として、若い時期から健康保持をより推進し、疾病を予防する一次予防の重視。



2として、年代別の課題を視野に、生涯を通して健康づくりの施策。3として、健康づくりのための環境整備とし、関係機関、団体等の参画を得て、町民の意見を尊重した計画である。

町長 介護保険の中でも、予防を徹底していく、18年度設置する地域包括支援センターをいかに機能させるか、さらに保健センターや地域といかに連携を取るかが課題となる。

予防、生活習慣に積極的に力をいれ、医療費、介護保険、給付費を抑えていく。

塩野中山間地事業組合の将来は

密接な連携を取りながら支援していく

内堀 恵人 議員



問 御代田町も自主自立で進むと決め2年半がたつ。第4次長期振興計画をたて、町の方向も決まった。塩野中山間地事業組合も、始めて以来6年が経過する。組合も将来のマスタープランをたて、力づくに進もうとしている。組合のマスタープランについて町はどう考えているか。

産業建設課長 塩野中山間地事業組合は、耕作放棄地の解消と発生を防止し、将来にわたって農業生産活動を可能とする目的で、平成12年から取り組んでいる。その結果大きな効果が塩野区の活性化にもなっている。組合のマスター



プランの補助金として国では、直売所を中心に加工施設体験施設等の事業への強い農業づくり交付金“制度”がある。

町長 組合が将来構想を立て目標に向って進み、補助金が無くなってもどう運営していくか考える事が大事である。第4次長期振興計画の中で組合と密接な連携を取り農業と地域の活性化を模索していきたい。具体的な事は相談をし、支援していきたい。